国土交通省　東北地方整備局
青森河川国道事務所
Aomori office of river & National highway

記者発表
Press Release

平成２８年　５月１７日
青森河川国道事務所

企業立地の促進や「リンゴ」産業の活性化を支援
～国道７号弘前・石川バイパス　４車線開通５年後の整備効果～

■一般国道７号弘前バイパス（延長 10.2km）・石川バイパス（延長 4.6km）は、弘前市街地及び藤崎町内の国道７号の交通混雑の解消や交通安全の確保等を目的に整備を進め、平成２３年度に全線４車線化が完成しました。
　今回、開通５年後の整備効果についてとりまとめましたのでお知らせします。

◆地域の雇用拡大に貢献し産業活性化に寄与
（事例①：工業団地への企業立地が進み、平成２５年には製造品出荷額が過去最高）

◆地域の基幹産業である「リンゴ」産業の活性化に寄与
（事例②：輸送時間短縮、走行性向上により、産業活性化を物流面から支援し、市場価格も高まる傾向）

◆観光来訪者の円滑な移動支援の面から地域の観光活性化に寄与
（事例③：さくらまつり期間の渋滞が大幅に緩和（市中心部→大鰐弘前 IC 間 30 分以上短縮））

【事業経緯】
＜弘前バイパス＞
昭和 44 年度　事業着手
昭和 52 年度　全線 2 車線開通
平成 23 年度　全線 4 車線開通

＜石川バイパス＞
昭和 48 年度　事業着手
昭和 55 年度　全線 2 車線開通
平成 23 年度　全線 4 車線開通

＜記者発表先：青森県政記者会、津軽新報社、建設関係専門紙＞

お問い合わせ先

国土交通省 東北地方整備局　青森河川国道事務所
副所長（道路）　高橋（たかはし）　秀典（ひでのり）　（内線 205）
（代表）017-734-4521
調査第二課長　佐々木（ささき）　耕嗣（こうじ）　（内線 451）
（直通）017-734-4570

一般国道7号　弘前（ひろさき）バイパス
一般国道7号　石川（いしかわ）バイパス

【開通５年後の整備効果資料】

平成２８年　５月１７日
国土交通省　東北地方整備局
青森河川国道事務所

1．事業の目的と概要

事業完了後５年経過

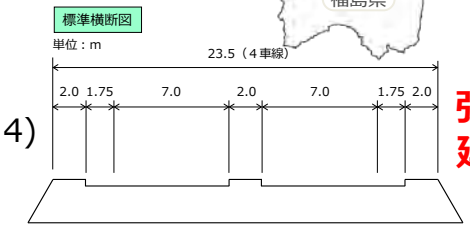
○事業目的
・弘前市街地及び藤崎町内の国道7号の交通混雑の解消、交通安全の確保など

弘前バイパス計画概要

起終点　：自）青森県弘前市大字堀越字川合
　　至）青森県南津軽郡藤崎町大字藤崎
延長　：１０．２ｋｍ　幅員　：２３．５ｍ
道路規格　：第３種１級　設計速度　：８０km/h
都市計画決定　：昭和４５年度
事業化　：昭和４４年度
用地着手　：昭和４５年度
工事着手　：昭和４６年度
暫定２車線開通：昭和５２年度
４車線整備着手：昭和５６年度
４車線開通年度：平成２３年度(H23.4)

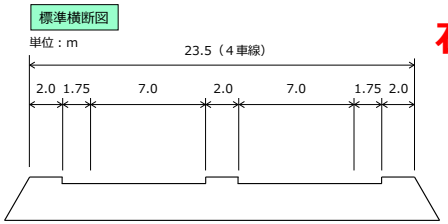
位置図



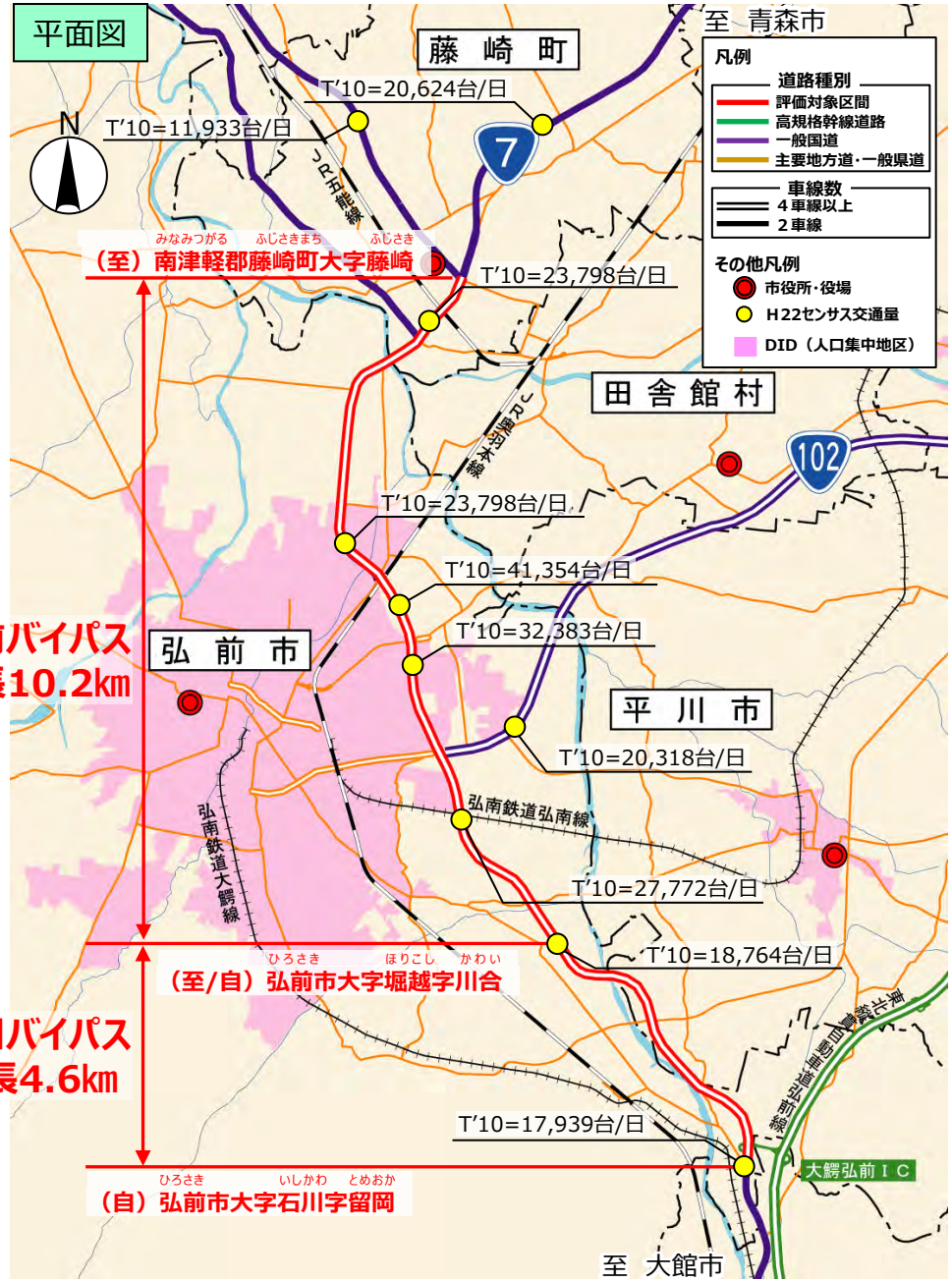


石川バイパス計画概要

起終点　：自）青森県弘前市大字石川字留岡
　　至）青森県弘前市大字堀越字川合
延長　：４．６ｋｍ　幅員　：２３．５ｍ
道路規格　：第３種１級　設計速度　：８０km/h
都市計画決定　：昭和４８年度
事業化　：昭和４８年度
用地着手　：昭和５０年度
工事着手　：昭和５３年度
暫定２車線開通：昭和５５年度
４線車整備着手：平成１９年度
４線車開通年度：平成２３年度(H24.3)



平面図



2．事業効果の発現状況（１）　企業立地による地域の活性化　【事例①】

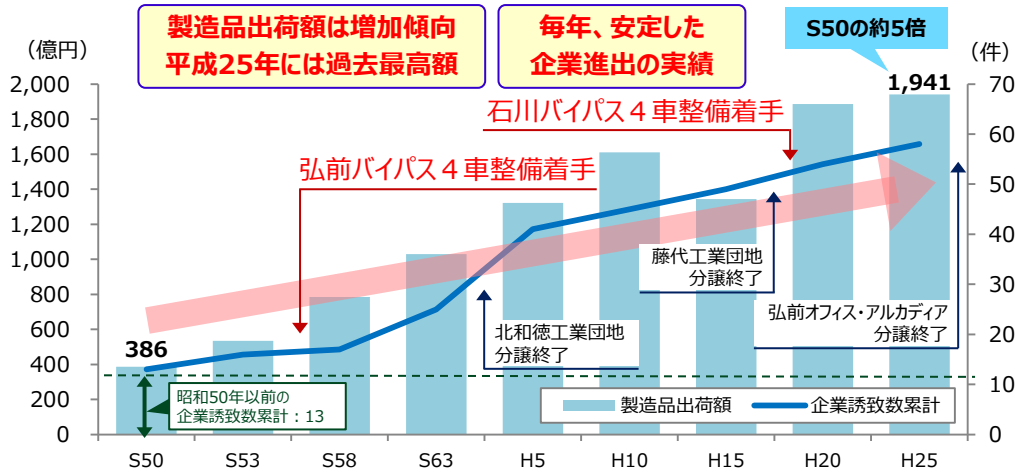
◆弘前・石川バイパス沿線には工業団地が造成され、企業立地も進み製造品出荷額も増加し平成25年は過去最高
◆弘前市の有効求人倍率も過去5年間で最高となる等、弘前・石川バイパス4車線開通は地域の雇用拡大に貢献し産業活性化に寄与

▼ 工業団地位置及び主要企業の主な材料搬入・製品出荷状況



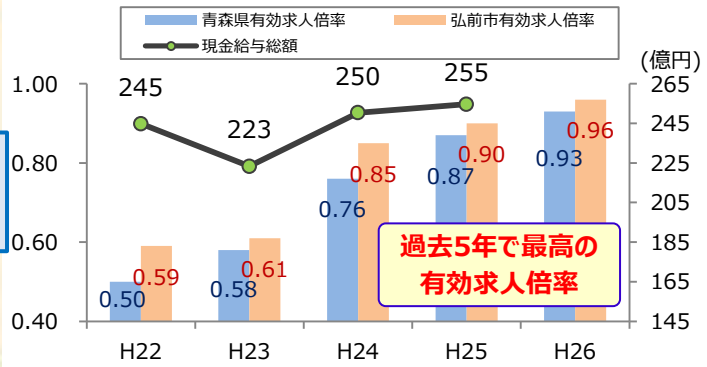
資料：H19・H27ヒアリング調査

▼ 弘前市の製造品出荷額等及び企業立地の推移



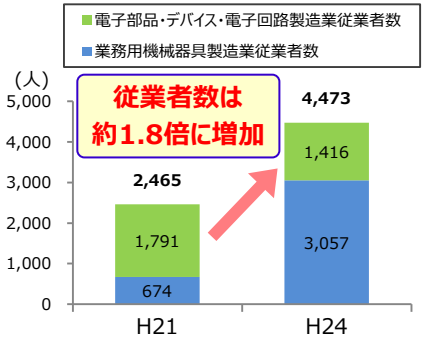
資料：工業統計、H27ヒアリング調査

▼ 有効求人倍率及び現金給与総額



【資料】 有効求人倍率：青森労働局HP（毎年10月）
給与：工業統計

▼ 従業員数の推移



資料：RESAS[従業者数（事業所単位）]

弘前市産業育成課
○弘前市内の主な工業団地は、**すべて分譲率100%**です。
○弘前市への企業の進出要因は、**弘前・石川バイパスも含めた充実した交通基盤**も１つの要因となっていると考えます。　（H27.12調査）



2．事業効果の発現状況（２）　地域の特産品の物流効率化を支援　【事例②】

◆弘前市の『リンゴ』生産量は日本一であり、近年の出荷量は増加傾向
◆『リンゴ』の9割は、トラック輸送にて弘前・石川バイパスを経由し関東・関西等へ消費地ニーズに応じて出荷され、市場価格も高まる傾向
◆弘前・石川バイパス4車線開通により、効率的な輸送が可能となり地域の基幹産業である『リンゴ』産業の活性化を支援

ＪＡつがる弘前

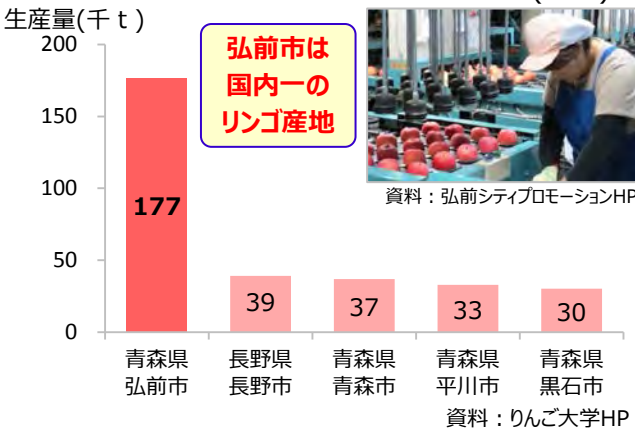


○りんごは、最盛期に10ｔ車で20～30台／日が出荷され、関東方面へは、**国道７号から大鰐弘前ＩＣ、関西方面へは、国道７号を南下し日本海ルートで関西へ輸送**しています。
○所要時間は、**大鰐弘前ICまでの所要時間は5分～10分程度短縮し、特に冬期は走りやすくなっています。**（H28.2調査）



資料：H27ヒアリング結果

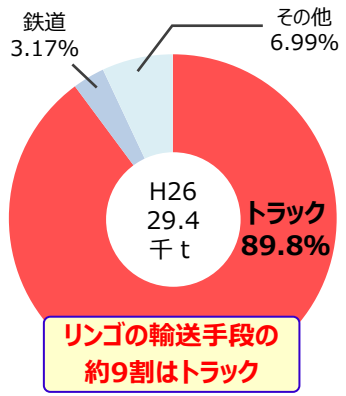
▼　全国市町村別リンゴの生産量TOP10(H18)



資料：弘前シティプロモーションHP

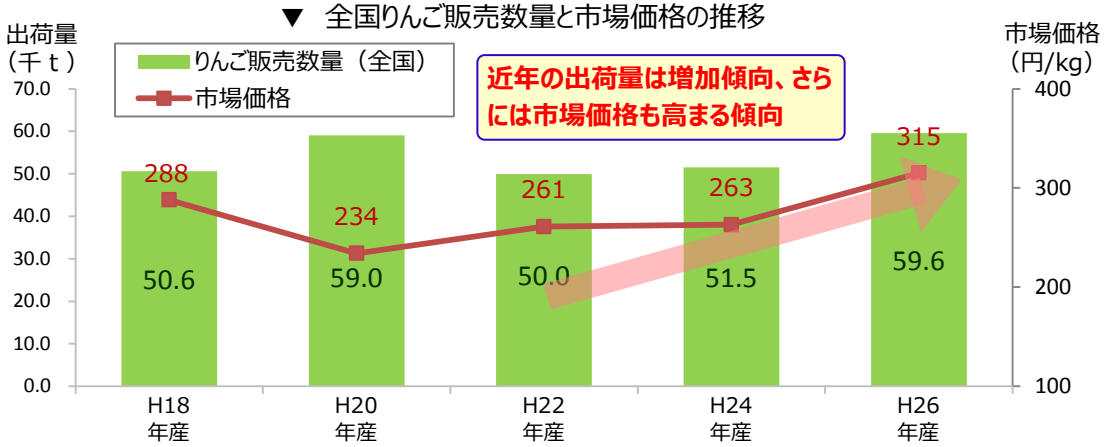
資料：りんご大学HP

▼　リンゴ輸送機関別出荷実績



資料：青森県のりんご '15

▼　全国りんご販売数量と市場価格の推移



【資料】販売数量：JAつがる弘前りんご課　市場価格：青森県のりんご '15

青森県りんご商業協同組合連合会



○近年の市場価格伸びの一因には、**弘前バイパス、高速道路等の整備により臨機応変に顧客ニーズ（価格）の高い消費地にトラックでりんごを輸送できるようになった**ことも挙げられます。（H28.2調査）

2．事業効果の発現状況（３）観光の活性化　【事例③】

◆弘前市は、来場者数230万人の『弘前さくらまつり』等多様な観光資源を有し、観光入込客は東日本大震災前の水準に回復
◆弘前・石川バイパス4車線開通後は、弘前さくらまつり期間の渋滞が大幅に緩和する等、観光来訪者の円滑な移動支援の面から地域の観光活性化に寄与

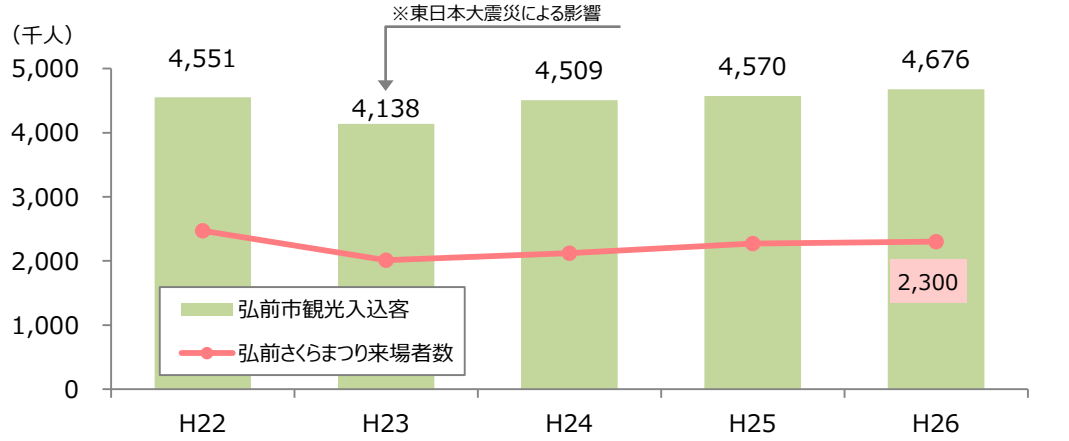
▼ 弘前市の主な観光拠点と入込客数



資料：弘前公園HP

▲ 4車線開通前 弘前さくらまつり開催期間中の渋滞の様子

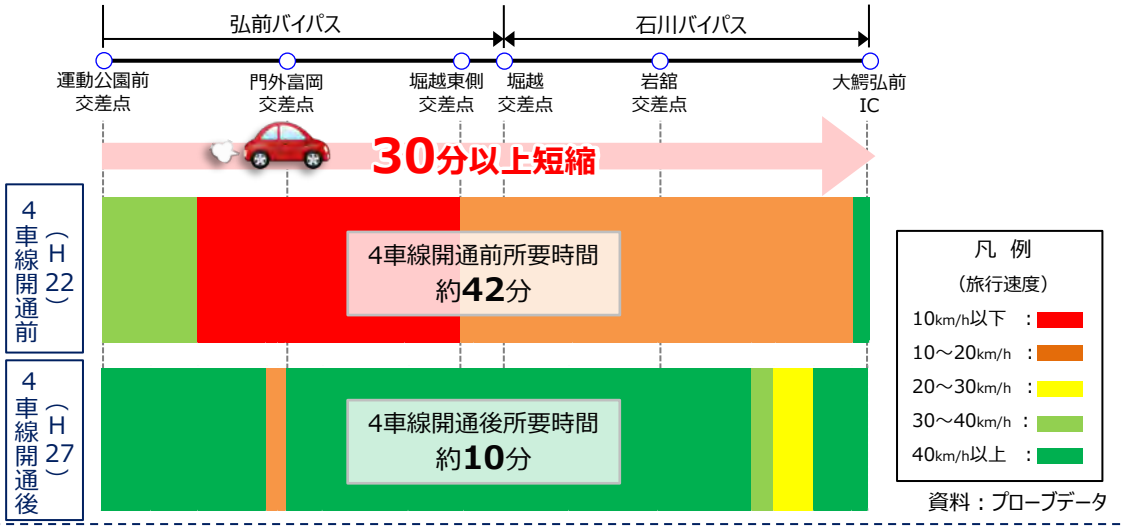
▼ 弘前市観光入込客



資料：青森県観光入込客統計

■弘前さくらまつり開催期間中の混雑変化（市中心部→大鰐弘前IC）

▼ 弘前さくらまつり期間中(4/29～5/5)の混雑状況（休日15～18時）

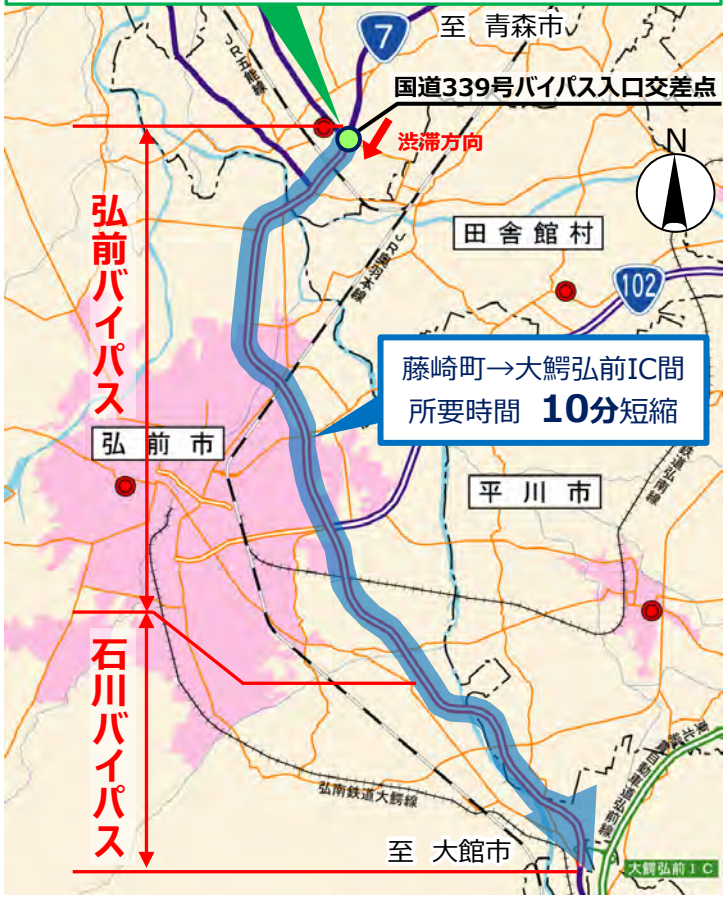


資料：プローブデータ

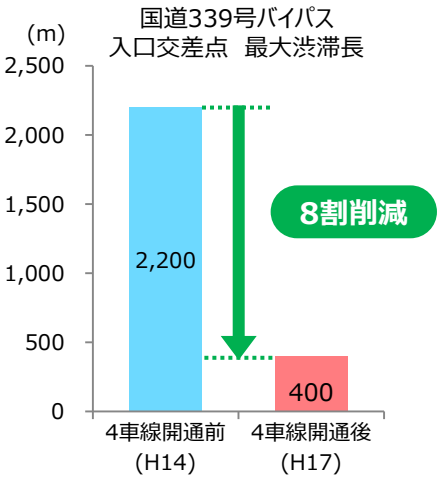
2．事業効果の発現状況（４）　道路交通環境の改善

◆弘前・石川バイパス4車線開通に伴い、渋滞は大きく減少し、道路利用者の9割が渋滞緩和を実感
◆また、渋滞緩和に伴い、弘前・石川バイパスを経由した大鰐弘前ＩＣへのアクセス性も向上（所要時間が短縮）



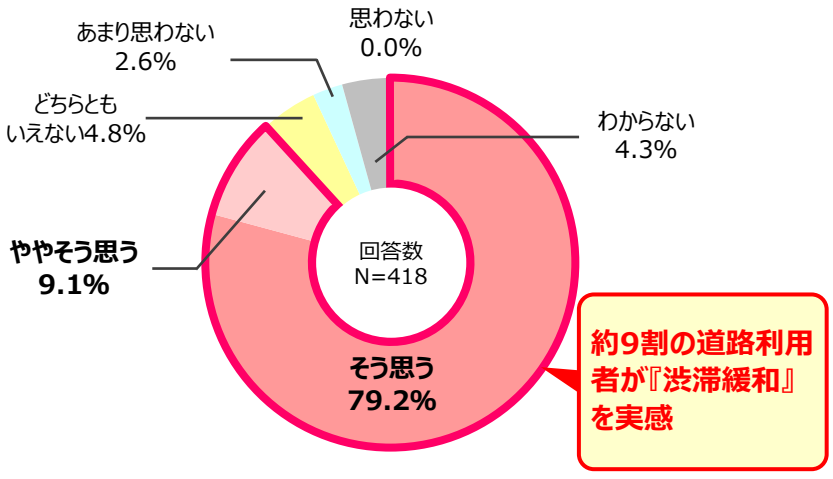


▼ 最大渋滞長の変化



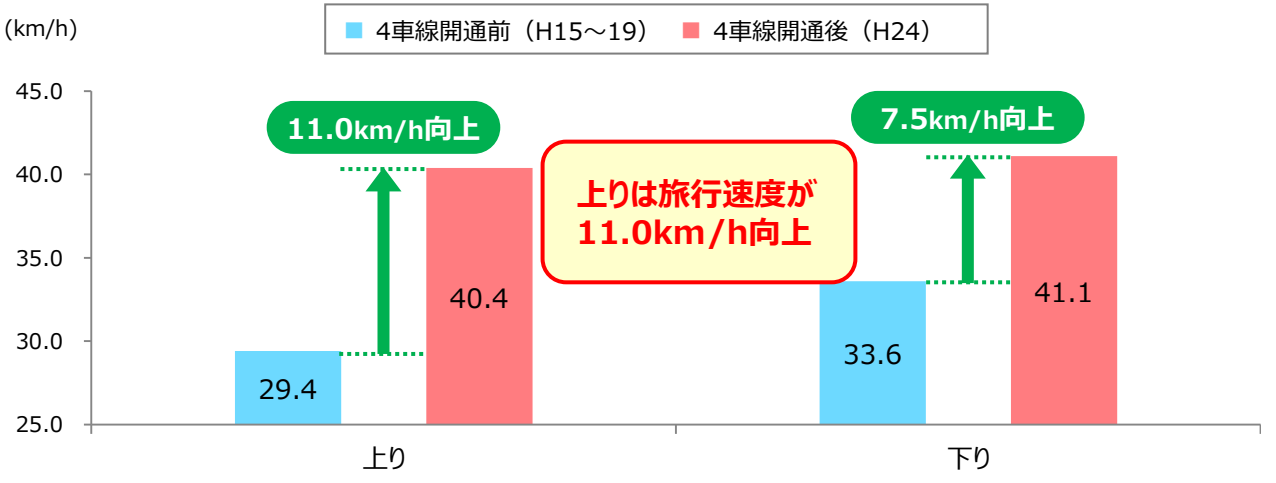
資料：交通実態調査結果

▼ 4車線開通前と比べて渋滞が緩和したと感じる人の割合



資料：弘前バイパス・石川バイパス　観光期ヒアリング調査(H27年度)

▼ 藤崎町～大鰐弘前IC間走行速度（平日ピーク時）

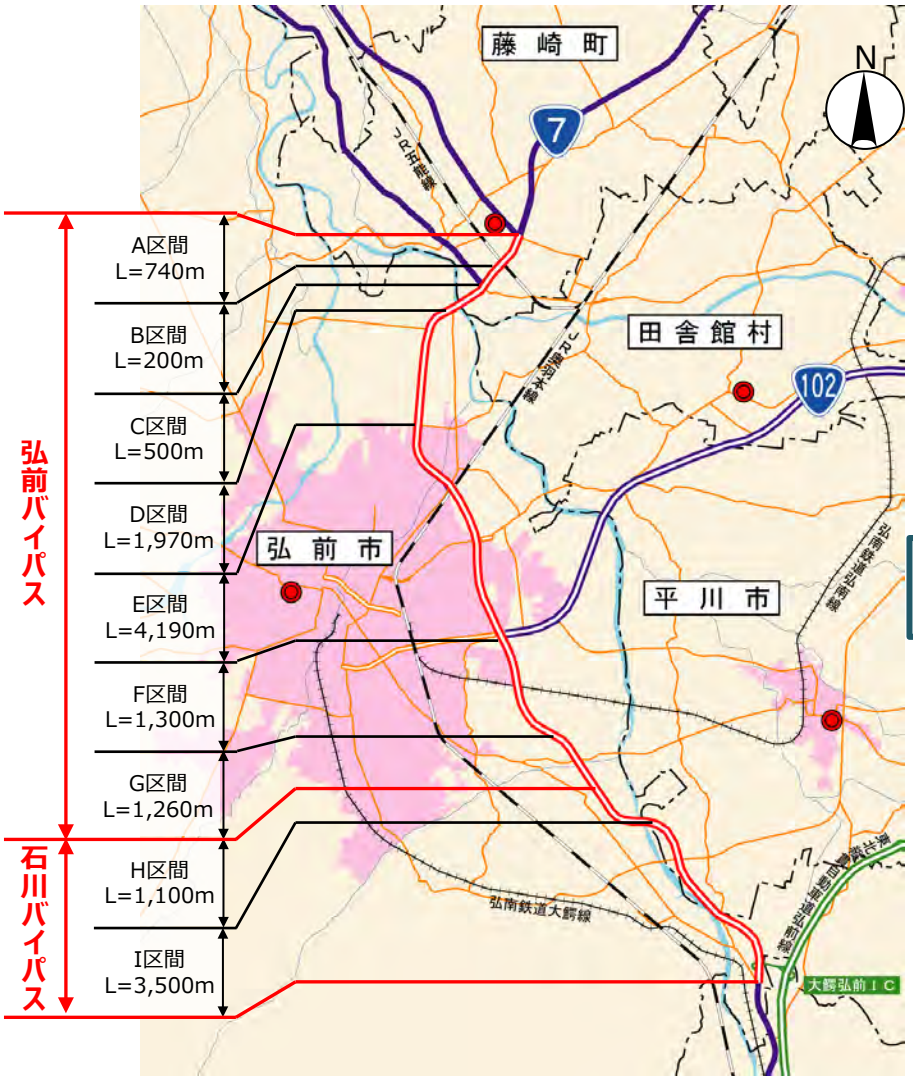


【資料】4車線開通前：旅行速度調査（H15～H19）
4車線開通後：ﾌﾟﾛｰﾌﾞﾃﾞｰﾀ（H24.7）

2．事業効果の発現状況（５）　交通事故の減少

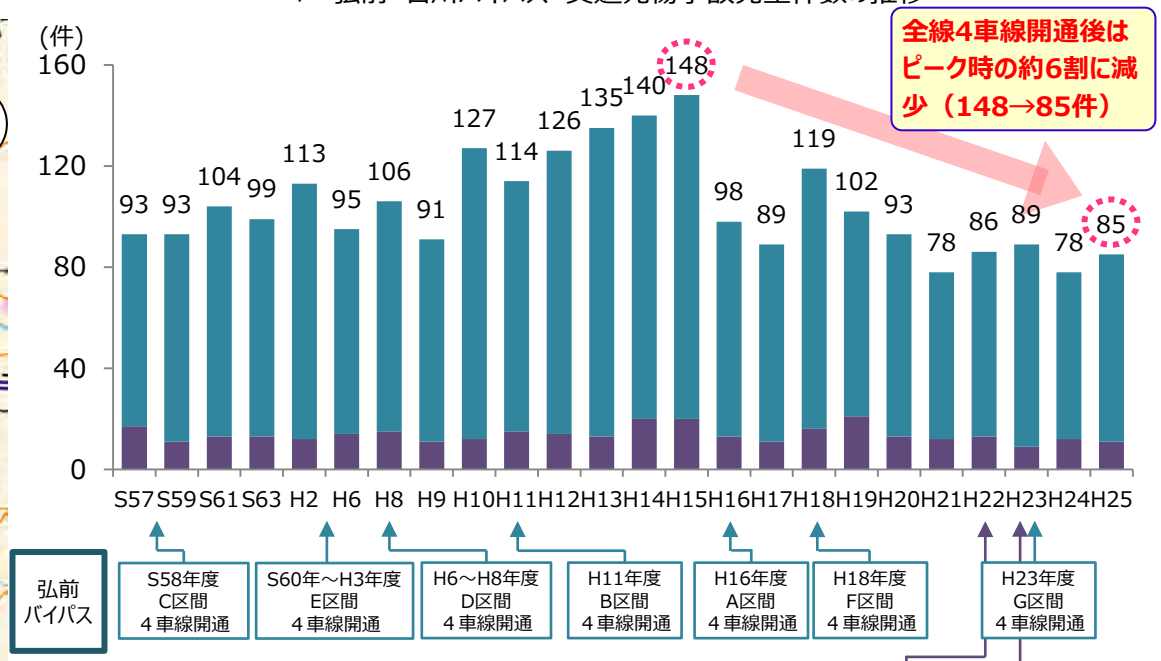
◆死傷事故件数は、弘前・石川バイパス4車線開通に伴いピーク時の約6割までに減少し、弘前・石川バイパス4車線開通は交通安全の確保に寄与

至　青森市



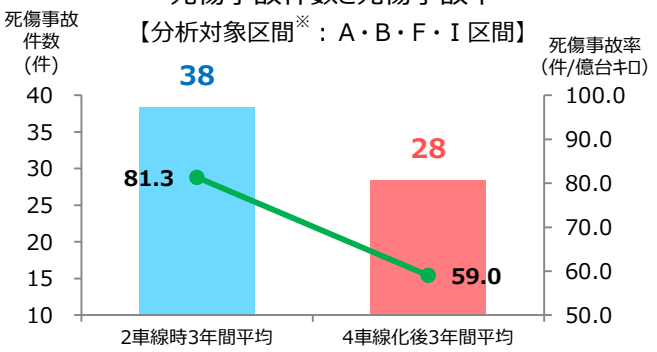
至　大館市

▼ 弘前・石川バイパス　交通死傷事故発生件数の推移



資料：イタルダデータ（H8～H25）、
道路交通センサス（H2、H6）、
交通管理調査報告書（S57～S63）

▼ 弘前・石川バイパス　４車線開通前後における
死傷事故件数と死傷事故率



※分析対象区間はイタルダデータにて分析が可能な区間

資料：イタルダデータ（H8～H25）

